



令和8年度

9月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和 8 年 9 月 1 日



三大幼 HP は
こちらから



素敵な思い出が豊かに生きる力の基に

園長 安田 徳章

皆様は、今年の夏はどのように過ごされたでしょうか。今年は厳しい暑さだけでなく、地震や集中豪雨などの自然災害等、心配なことも少なくない日々でしたが、こどもたちにとっては、きっと、夏ならではの豊かな体験をして、素敵な思い出ができたのではないかと思います。

幼稚園も、地域の皆様方から素敵な思い出をいただきました。東大島神社での納涼祭の盆踊りで、宮司様からご提案をいただき、たくさんの方にご支援をいただいて、本園の希望することもたちがやぐらの上で踊る機会をいただいたのです。当日は、やぐらの昇り降りや踊っている間の励ましのお言葉など、たくさんの方に支えていただき、本園のこどもたちが地域の皆様の温かさに包まれている幸せを、改めて強く感じました。一緒に参加した私たち大人にとっても、とても素敵なひと時を過ごすことができ、思い出深い日となりました。(当日の様子をホームページに掲載させていただきました。)ありがとうございました。

幼い頃の楽しかった思い出は、この先の人生を豊かに生きる力の基になると言われています。こどもの頃の自然体験や地域行事等の体験活動が、その後の自己肯定感や挑戦する意欲などにつながるといった調査結果もあります(※1)。本園のこどもたちも、夏休みの間、自分の住んでいる地域の温かさを感じたり、いつも過ごしている場所とは違う所で普段は体験できない貴重な体験をしたりして、どれもが素敵な思い出になり、心と体を豊かに育む体験となっていることと思います。

本日から始まる幼稚園生活の中でも、こどもたちが元気いっぱいの楽しい毎日を過ごせるよう、そして、多様な人や物、様々な事柄等との関わりを通した学びが確かに積み重なっていけるよう、教職員一同努めてまいります。引き続き、保護者、地域の皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※1 国立青少年教育振興機構調査報告参照



今月の指導のポイント



年中りんご組

夏休みはいかがお過ごしでしたか。久しぶりの幼稚園生活を楽しむ姿勢もあれば、緊張や不安を感じる姿もあると思います。こどもたち一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにしていきます。また、身支度や生活の流れを丁寧に確認したり、教師や友達と夏休み前に楽しんでいた遊びや、夏休みに経験したことを再現して遊んだりしながら、園生活のリズムを取り戻せるようにします。

気候がよい日には、教師や友達と一緒に園庭でかけっこやダンスをすることを通して、のびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにします。

みどりのトンネルやみどりのひろばなど、園庭の自然にも変化が見られます。草花の生長に気付いたり、自然物を使った色水遊びや虫探しなどを楽しんだりして、自然物への興味や関心を広げていけるようにします。

年長にじ組

夏休みが終わり、前期後半が始まりました。園生活のリズムを取り戻しながら、自分たちで生活を進めていけるようにします。

キングブロックや色水遊び、ごっこ遊びなど、夏休み前に友達と一緒に楽しんでいた遊びをしたり、夏休み中に経験したことを遊びの中に取り入れたいしていきます。その中で、友達と思いや考えを伝え合いながら遊びを進める楽しさを感じていけるようにしていきます。そして、友達とのつながりを深めていけるようにします。

また、園庭や遊戯室などで様々な運動遊びに取り組む中で自分の力を発揮したり挑戦したりしながら、体を動かす楽しさを感じられるようにしていきます。

虫とりやみどりのトンネルの種とりなど、夏から秋への自然の変化を感じながら、園庭の自然環境にも興味・関心を深めていけるようにしていきます。